

特別調査

「まち・ひと・しごと創生」と中小企業

問1. 2014年12月27日に、政府から、地方創生のための「まち・ひと・しごと」にかかるビジョンと戦略が公表されました。「地方における安定した雇用(しごと)を創出する」という基本目標の中で、「力強い地方産業の競争力強化」の必要性が示されています。貴社における新たな「しごと」作りについて、以下の1~0のなかからあてはまるものを3つ以内で選んでお答えください。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1. 販路開拓 (海外含む) の強化	2. 新商品・ サービスの 開発	3. 増産・営 業力の強化	4. 新規事業 の立ち上げ (起業)	5. 産学官連 携への参 加強化	6. 地元金融 機関との連 携強化	7. 企業間連 携への参 加強化	8. 不採算部門の 縮小等による業 態轉換	9. その他	0. 検討して いない
合計(構成比)	27.2	24.3	23.1	8.1	4.6	18.5	13.9	6.9	1.2	35.3
合計件数	47	42	40	14	8	32	24	12	2	61
製造	19	16	10	3	2	7	7	4	0	9
建設	8	2	13	3	4	11	11	3	0	13
卸売	1	1	0	1	0	1	1	1	0	3
小売	13	15	8	5	2	8	2	2	2	23
サービス	6	8	9	2	0	5	3	2	0	13

*新たな「しごと」づくりについては、「検討している」が64.7%、「検討していない」の35.3%を上回った。検討の内訳としては、「販路開拓の強化」が27.2%と最も高く、次に「新商品サービスの開発」(24.3%)、「増産・営業力の強化」(23.1%)と続いた。

問2. ビジョンと戦略では、「地方への新しいひとの流れをつくる」という基本目標が掲げられています。こうしたなかで、貴社では、今後の人材の確保に向けてどのような対応が考えられますか。次の1~0のなかから3つ以内で選んでお答えください。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1. 新規採用の 拡充	2. 中途採 用の拡充	3. 女性の活躍 の場の拡充	4. 遠隔勤務 (テレワー ク等)	5. 給与水 準の引き 上げ	6. 福利厚生 (住居等)の拡 充	7. 地元外の大 都市圏にある 大学へのPR の拡充	8. 地元大 学・高専・高 校・中学への PRの拡充	9. ハローワ ークとの連 携強化	0. わからな い
合計(構成比)	25.4	19.1	12.1	0.6	15.0	11.6	0.6	5.8	18.5	44.5
合計件数	44	33	21	1	26	20	1	10	32	77
製造	14	10	6	0	7	3	1	3	7	14
建設	16	10	2	1	8	6	0	3	12	12
卸売	2	0	0	0	2	2	0	1	2	3
小売	6	6	8	0	6	5	0	1	2	34
サービス	6	7	5	0	3	4	0	2	9	14

*人材確保への対応については、「新規採用の拡充」(25.4%)が最も高く、次に「中途採用の拡充」(19.1%)、「ハローワークとの連携強化」(18.5%)、「給与水準の引き上げ」(15.0%)、「女性の活躍の場の拡充」(12.1%)、「福利厚生(住居等)の拡充」(11.6%)と続いた。

問3. 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という基本目標が示される中で、貴社では、今後の人材の確保にむけてどのような対応が考えられますか。次の1~0のなかから3つ以内で選んでお答えください。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1. 非正規雇用の正規化	2. 金銭面での子育て支援の拡充	3. 勤務時間面での子育て支援の拡充	4. 保育施設(託児所)等での子育て支援の拡充	5. 年次有給休暇の取得促進	6. 出産休暇・育児休暇の取得促進	7. 職務・地域を限定する等多様な正規雇用の導入	8. ハラスメント問題への対応強化	9. 結婚希望者の実現支援	0. わからない
合計(構成比)	9.8	15.0	19.1	10.4	12.1	11.6	9.8	1.2	5.8	47.4
合計件数	17	26	33	18	21	20	17	2	10	82
製造	8	5	9	2	6	4	4	1	1	16
建設	5	6	5	2	8	5	7	0	5	18
卸売	1	1	1	0	2	2	0	0	1	3
小売	3	7	9	7	1	5	3	0	1	32
サービス	0	7	9	7	4	4	3	1	2	13

*子育て世代対応のための職場環境づくりについては、「勤務時間面での子育て支援の拡充」(19.1%)、「金銭面での子育て支援の拡充」(15.0%)、「年次有給休暇の取得促進」(12.1%)、「出産休暇・育児休暇の取得促進」(11.6%)、「保育所施設(託児所)等での子育て支援の拡充」(10.4%)と続いた。

問4. 「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」という基本目標のなかで、地域の課題は地域で解決する観点からの各種施策が示されています。貴社では、こうした施策全般に対して、地元自治体にどのようなことを期待していますか。次の1~0のなかから3つ以内で選んでお答えください。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1. 医療・福祉等生活サービスの拡充	2. 公共交通の維持・拡充	3. 都市機能の集約・コンパクト化	4. 助成金等補助制度の拡充	5. まちおこしの支援拡充	6. 地産地消・地元発注の拡充	7. 規制緩和の拡充	8. 公共施設・公的不動産の有効活用	9. 地域防災の充実	0. 期待していない
合計(構成比)	31.2	8.1	4.6	30.6	26.6	38.7	6.9	12.7	9.2	20.8
合計件数	54	14	8	53	46	67	12	22	16	36
製造	9	0	4	20	13	21	3	5	2	4
建設	12	5	3	14	6	16	2	13	7	4
卸売	3	0	0	2	1	4	0	0	0	2
小売	18	4	0	14	19	15	1	2	4	18
サービス	12	5	1	3	7	11	6	2	3	8

*地方自治体への期待については、「期待している」が79.2%と、「期待していない」の20.8%を大きく上回った。「まち・ひと・しごと創生」の核となる地方自治体に対して、高い期待を寄せていることがわかる。期待の内訳では、「地産地消・地元発注の拡充」(38.7%)が最も高く、次に「医療・福祉等生活サービスの拡充」(31.2%)、「助成金等補助制度の拡充」(30.6%)、「まちおこしの支援拡充」(26.6%)、「公共施設・公的不動産の有効活用」(12.7%)、「公共交通の維持・拡充」(8.1%)と続いた。

問5. ビジョンと戦略では、「東京一極集中の是正」が大きな克服課題の一つとされるとともに、「地方中核都市」には大都市圏への人口流出を食い止める機能が期待されています。貴社では、これらに対してどのように受けとめていますか。以下の①（1～5）のなかから1つ、②（6～0）のなかから1つ、それぞれ最もあてはまるものを選んでお答えください。

（複数回答）（単位：件・％）

	（①東京一極集中の是正に対して）					（②地方都市の機能強化に対して）				
	1.非常に期待している	2.期待している	3.あまり期待していない	4.まったく期待していない	5.どちらともいえない	6.非常に期待している	7.期待している	8.あまり期待していない	9.まったく期待していない	0.どちらともいえない
合計(構成比)	4.6	15.6	28.3	23.1	28.9	5.2	25.4	28.3	15.0	25.4
合計件数	8	27	49	40	50	9	44	49	26	44
製造	1	9	7	11	11	2	14	9	4	10
建設	2	6	17	10	7	3	12	15	6	6
卸売	0	1	2	3	1	0	1	3	2	1
小売	3	6	15	12	18	1	13	15	10	15
サービス	2	5	8	4	13	3	4	7	4	12

*東京一極集中の是正については、「期待していない」が51.4%となり、「期待している」の20.2%を上回った。地方都市の機能強化についても、「期待していない」が43.3%と、「期待している」の30.6%を上回った。

～調査員のコメントから～

- 町のふるさと納税お礼の水産加工品の受注により多忙となった。（製造業）
- 和洋菓子店は、この時期バレンタイン・ひな祭りなどで売上堅調に推移した。（製造業）
- 今年の昆布漁は低調予想にあるため、積極的に仕入れを行っている。（製造業）
- 高規格道路の工事により、売上確保できた。（建設業）
- 札幌の除雪支援に参加、冬期間の人材活用にとっても役立った。（建設業）
- 冬期間ながら、町営住宅建設工事主体に順調に稼動。（建設業）
- 一般小売店への酒類関係の売上はコンビニ店の影響で厳しい状況にある。（卸売業）
- 水産物は、時期的に水揚げ量が少なく、売上減少している。（卸売業）
- 家電販売店では商品の売れ行き鈍くなっている。（小売業）
- 釣具のネット販売好調。（小売業）
- 問屋さんの廃業、倒産で商品の仕入れに苦労が増えているようだ。（小売業）
- 冬季間のため工事関係者などの長期宿泊客が少ない状況。（サービス業）
- 時期的に観光客の宿泊少ないが、春の宿泊予約が徐々に入ってきている。（サービス業）
- アポイ岳世界ジオパーク登録に向け、宿泊施設では研究者などの来町増加を（サービス業）期待している。